

記事掲載：2022年7月

翻訳：2022年10月

すべての人々にとっての、2億2,200万の夢

ヤスミン・シェリフ ECW 事務局長



©Education cannot wait

私たちは人類として、1つの家族のように歩んできました。普遍的な人権を確保し、人類として共に成長してきたこれまでの進歩を、私たちは称賛できますし、称賛すべきです。しかし、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で示された、地球上のすべての子どもたちに質の高い教育へのアクセスを提供するというグローバルな取り組みには遅れをとっているのも事実です。

私たちは、飢餓と貧困のない世界を実現するという約束を果たせていません。そして、気候変動、新型コロナウイルス感染症、武力紛争、強制移住、その他の世界的な危機に対処するための集団的な取り組みにおいても、私たちは後れを取っています。これらの危機は、すべての人にとってより公正で、平等で、平和な世界を作るための私たちの努力を妨げ、混乱させ続けています。

これらのコミットメントは、[SDG 目標 4](#)「すべての人に包括的で公平な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」ことなしには、実現しません。

ビジョンにはアクションが必要

2022年6月、緊急事態と長引く危機における教育のための国連グローバル基金である ECW は、緊急の教育支援を必要とする危機の影響を受けた学齢期の子ども数が 2016年の推定 7,500 万人から 2 億 2,200 万人に増加したという衝撃的な新しい [報告](#) を発表しました。

これは受け入れがたいことです。子どもたち 2 億 2,200 万人の夢が打ち砕かれ、2 億 2,200 万の機会が阻止され、2 億 2,200 万の可能性が実現されなかったことを意味します。世界で最も危機の影響を受けている地域に住む 2 億 2,200 万人の子どもと若者が、自ら声をあげる機会を与えられていません。

この状況がさらに悪化する前に、そして、[アフガニスタン](#)、[コンゴ民主共和国](#)、[エチオピア](#)、[マリ](#)、[ナイジェリア](#)、[パキスタン](#)、[ソマリア](#)、[南スーダン](#)、[スーダン](#)、[ウクライナ](#)そして[イエメン](#)などで一つの世代すべてが失われた世代となってしまう前に、私たちは人類として緊急に団結した行動を起こさなければなりません。

緊急の教育支援を必要としている 2 億 2,200 万人の危機の影響を受けた子どもと青年のうち、7,820 万人が完全に学校に行かず、1 億 2,000 万人近くが学校に通っていますが、数学や読解の最低限の習熟度には達していません。実際、危機の影響を受けて初等教育または中等教育に通っている子どもの 10 人に 1 人しか、実際にこれらの習熟度の基準を達成していません。この状況を変えなければなりません。

これらの数字をグローバルな視点から考えてみてください。2 億 2,200 万人は、ドイツ、イギリス、イタリアの総人口を合わせた数よりも多い人数です。2 億 2,200 万人の少女と少年が、戦争のある地域に暮らしている、強制的な移動、その他の危機的な状況に陥っており、現在教育支援を必要としています。この危機的な状況は、子どもたち自身がもたらしたものではないにもかかわらず、教育の機会を奪われているのです。

アフガニスタンの少女や、チャド湖地域の暴力から逃れてきた少年にとって、教育が何を意味するか考えてみてください。ここで、教育への投資の大きな可能性について考えてみましょう。世界銀行によると、女子の教育に 1 ドルを費やすごとに、約 [2.80 ドルのリターン](#) が得られます。また、すべての女子が中等教育を修了できるようにすることで、開発途上国の GDP を今後 10 年間で平均 10% 押し上げることができます。

教育の変革

教育の変革は、次世代への投資を変革することも意味します。世界の 2 億 2,200 万人の最も脆弱な子どもたちを置き去りにするのでしょうか?変革には、グローバルに資金を集め、エビデンスに基づいた包摂的な結果を推進する普遍的なパートナーシップを推進する必要があります。そのためには、行動をボトムアップで活性化していくとともに、教育に投資する方法と理由をトップダウンで対応する、双方向からのグローバルな運動を構築する必要があります。

2022 年 9 月に国連事務総長が開催する[変革教育サミット](#)に注目が集まっています（訳注：翻訳時点ではサミットは終了）。このサミットは、教育を変革するための政治的野心、行動、解決策、連帯を動員すること、すべての子どもと青年が 12 年間の質の高い教育を受けられるようにし、今日と明日の世界のために教育システムを再考し、[SDG 目標 4](#) を達成するために、国内および世界から資金を獲得し、必要な取り組みを活性化することを目指しています。

2016 年に ECW が設立されて以来、私は政府、ドナー、国連機関、市民社会組織、子どもと若者、その他の主要なパートナーと会い、緊急事態や長引く危機への支援において、教育支援を提供するアプローチを変革してきました。私は、ユネスコが主催するパリでの国連教育変革プレサミットにて、教育変革サミット国連特別顧問であるレオナルド・ガルニエ（[Leonardo Garnier](#)）氏に会いました。ダボスで開催された[世界経済フォーラム](#)で、レゴ財団やシスコ（CISCO）など、さまざまな民間セクターのステークホルダーと会いました。私たちは皆、共通のビジョンを持っています。

最も重要なことは、私が[アフガニスタン](#)、[カメルーン](#)、[モルドバ](#)などで危機の影響を受けた何百人もの少女と少年に会ったことです。彼らはいつか教員、弁護士、看護師、エンジニア、ジャーナリスト、医師、宇宙飛行士になることを夢見ています。彼らの夢は、私たちのビジョンです。

これらの経験から、教育変革サミットに向け、グローバルなアクションを進めていくにあたって、私たちが前面に押し出すべき 3 つの重要な教訓が得られました。

まず 1 つめは、子どもと若者が最優先であるということです。

国連教育変革プレサミットで、SDG 4 ハイレベル運営委員会のユース代表である [Kenisha Arora](#) 氏は、教育について強く訴えました。「人々が教育を受けると、社会が変わります。金融リテラシーは、金融の自由と経済発展につながります。デジタルリテラシーはデジタル改革になります。気候リテラシーは気候変動対策になります。」[#222MillionDreams](#) を実現するために、これらの力強い若者の声の力と希望を取り入れなければなりません。彼らは明日のリーダーとなるでしょう。

2 つめの教訓は、グローバル・サウスが教育に投資できるように、支援しなければならないということです。

人道・開発・平和のネクサスを橋渡しする、複数年にわたるプログラムに対して相応の財政支援をすることで、グローバル・サウスへの支援を実現することができます。エチオピアの大統領であり、教育の未来に関するユネスコ国際委員会の委員長である[サーワーク・ゼウデ](#)氏は、プレサミットで次のように述べています。「私たちは、開かれた対話と、排除されがちな人々を巻き込むより包摂的な参加を強化しなければならない。」このような意志は既にありますが、しばしば資金や必要な支援が不足しているために、実現が難しくなっています。

3 つめの教訓は、私たちは 1 人では達成することはできないということです。緊急時の教育に対する政治的および公的支援を呼び起こし、公的機関、民間部門、財団、富裕層から寄付金を集め、団結を強化することが必要です。教育変革サミットと、2023 年 2 月に開催される ECW の[ハイレベル増資会合](#)が、団結強化の重要な機会となるでしょう。[国連のアントニオ・グテーレス事務総長](#)は、「子どもたちを取り残さない」というグローバルなムーブメントを構築するために、さまざまなパートナーをつなぐ刺激的なリーダーシップを発揮し続けています。

グテーレス事務総長は、その公式声明にて、ECW の #222MillionDreams キャンペーンと 2 月に予定されているハイレベル増資会合への支持を表明すると同時に、次のように述べています。「世界中で、2 億 2,200 万人の子どもたちが、非常に残念なことに教育を中断させられています。彼らの未来への夢は、紛争や移住、気候災害によって奪われています。私たちは、政府、企業、財団、個人の皆様に ECW の重要な活動を支援していただく必要があります。そして、9 月に開催される教育変革サミットに向けて、皆さんのアイデアやイノベーションを必要としています。世界中のすべての子どもたちが教育を受けられるようにするために、ご協力をお願いします。2 億 2,200 万の夢を実現するためにご協力ください。」

ビジョンの実現を通じて、何百万人も子どもたちや若者たちに力を与えましょう。

【翻訳前の記事（英語）】

<https://world-education-blog.org/2022/07/27/222-million-dreams-for-the-human-family/>